

緩和ケア部会

がんにより死亡する人の減少
がんの年齢調整死亡率(75歳未満、人口10万人当たり)を平成
29年度までに20%減少させる。

全体目標

部会が担当す
る分野の課題
と目標

5

施策毎
のアウト
カム目標

施策毎
のアウト
プット
目標

施策
アクション
プラン

ワーク
シート1で
導き出さ
れた対策
項目

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の
質の維持向上

【目標】 あるべき姿 質の高い緩和ケア医療の提供

最終目標	除痛率調査方法のベースラインが出来ている
中期目標	除痛率の指標を作る
指標	除痛率60%

【アウトカム目標1】平成26年3月までに、すべての患者が緩和ケアを正しく理解し、治療に参加できる必要な機会にアクセスできる環境を整える。

(1)26年3月までに拠点・支援病院で主治医からの配布率が50%以上、30年3月までに配布率100%。

参加者2年間で500名(二次医療圏ごとに1年1回開催)。

26年3月までに拠点・支援病院と協議し、HPで情報を発信する。

(1-1)緩和ケアパンフレット作成

(1-2)緩和ケア講演会を定期開催

(1-3)HPの緩和ケア情報を充実させる

【施策1】一般・患者、家族への情報提供を行う

【アウトカム目標2】26年3月までに満足60%、30年3月までに90%。

26年3月までに1年分データを解析をおこない、患者さんのギャップを明らかにする。

平成25年度は支援病院、参加希望施設、拠点病院で調査を開始する。

平成24年度までに調査方法の構築計画

(4)25年4月から緩和ケア情報シートの分析をおこなう

【施策3】除痛率の確立をはかる

【施策4】緩和ケア現状調査

【アウトカム目標3】30年3月末までに基本的な緩和ケア医療ができる医師が630名増え、一般的な緩和ケア医師が210人増加する。

●月・日に評価アンケートを実施する

(1)26年3月までに180名増加、(2)30年3月までに630名増加

(1)26年3月までに修了者30名増加、(2)30年3月までに180名増加

【施策5】緩和ケア研修会の実施

【施策6】フォローアップ研修会及び在宅緩和ケア研修会の実施

【アウトカム目標4】30年までに緩和ケア医療ができる医師以外の医療者が2倍増え、25施設が緩和ケアチームの依頼が5倍に増える

継続して各コメディカルの人数を把握していく。

26年3月までに拠点・支援病院の依頼数が30%増える

(7-1)がんリハビリ療士人数把握

(7-2)緩和薬物療法薬剤師人数把握

(7-3)同スキルナース人数把握

【施策7】コメディカルの増員

【アウトカム目標5】26年3月までに看取りを行う施設が2倍に増える

年に1回改訂を行う

1年に6回開催180名修了

(9-1)看取り施設での勉強会を開催する

(9-2)在宅療養支援診療所等のリストアップ作成

(9-3)症状緩和を目的とした緩和ケア関連の地域連携クリティカルパス作成・運用

【施策8】緩和ケアチーム依頼調査

【対策項目1】
患者さんへの正しい情報提供

【対策項目2】
より多くの医療関係者への適切な情報提供と教育

【対策項目3】
チーム医療体制の強化

【対策項目4】
病棟・病室連携の強化

【対策項目5】
行政との連携

ステップ 4

<緩和ケア部会:平成26年度経費内訳(案)>

1. 緩和ケア認識の普及活動

県内の講演会の開催を支援する。

項目	研修先	回数	単価	支出予定金額	備考
講師謝金(学外者)	2時間	1	15,000	60,000	2人
交通費		1	2,000	8,000	4人
会場費	沖縄県医師会館(2時間)	1	10,000	10,000	
計				78,000	

2. 患者会への協力

患者会を後援する。または講演会の開催

項目	研修先	回数	単価	支出予定金額	備考
旅費	石垣又は宮古	1	344,400	344,400	航空券30,000(那覇~宮古往復) 日当6,600/宿泊20,800(2泊3日) <6人分>
講師謝金(学外者)	2時間×@15,000(1人分)	3	90,000	270,000	宮古又は石垣負担(6人分) 1人@30,000(1日3人の講師で行った場合で3日間 で算出)
計				614,400	

3. 除痛率調査費用

項目	件数	単価	支出予定金額	備考
解析費用				別途予算あり
計			0	

4. 緩和ケアの現状分析費用

項目	件数	単価	支出予定金額	備考
通信費	500	90	45,000	
計			45,000	

5. 本島での緩和ケア研修会企画、実施を調整する

項目	研修場所	回数	単価	支出予定金額	備考
交通費(県内)	琉大病院	1式	24,000	24,000	平成25年度研修会経費参考
講師謝金		1式	116,000	116,000	
ファンリテータ謝金		1式	380,000	380,000	
会場費(沖縄県医師会館)		2回	45,000	90,000	
郵送代		90	80	7,200	
計				617,200	琉大病院のみ
研修会費用	2拠点病院及び 北部地区医師会病院	3	409,425	1,228,275	(詳細は【本島での緩和ケア研修会に係る費用】 参照)
計				1,228,275	2拠点病院及び北部地区医師会病院

6. 緩和ケアフォローアップ研修会及び在宅緩和ケア研修会を実施する

項目	研修場所	人数	単価	支出予定金額	備考
交通費(県内)		5	2,000	10,000	
講師謝金(学外者)		3	30,000	90,000	
会場費	沖縄県医師会(8時間)	1日	15,500	15,500	
計				115,500	

7. 看取りを施設で行うための勉強会の実施:別途助成金あり

8・行政との交流会実施

項目	回数	単価	支出予定金額	備考	
講師謝金(学外者)	2時間	1	15,000	60,000	2人
交通費(県内)		1	2,000	8,000	4人
会場使用料	沖縄県医師会(2時間)	1	5,000	5,000	
計				73,000	

9. 在宅緩和ケア地域連携事業

①二次医療圏内の在宅療養支援診療所等のリスト及び在宅緩和ケア連携を患者家族に示せるマップのメンテナンス

項目	回	単価	支出予定金額	備考
メンテナンス	1	100,000	100,000	
計			100,000	

②症状緩和を目的とした緩和ケア関連の地域連携クリティカルパスの運用と評価

項目	回	単価	支出予定金額	備考
メンテナンス	1	100,000	100,000	
計			100,000	

合計 ¥2,971,375

*日 当・・・1日当たり2,200円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*宿泊料・・・1夜当たり10,400円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*謝金(学外者)・・・1時間 15,000円(国立大学法人琉球大学諸謝金支給基準単価表参考)

<緩和ケア部会:平成26年度経費内訳(案)>

1. 琉球大学附属病院支出予定額

合計 ¥1,243,500

1. 緩和ケア認識の普及啓発活動
県内の講演会の開催を支援する。

項目	研修先	回数	単価	支出予定金額	備考
講師謝金(学外者)	2時間	1	15,000	60,000	2人
交通費		1	2,000	8,000	4人
会場費	沖縄県医師会館(2時間)	1	10,000	10,000	
計				78,000	

2. 患者会への協力
患者会を後援する。または講演会の開催

項目	研修先	回数	単価	支出予定金額	備考
旅費	石垣又は宮古	1	114,800	114,800	航空券30,000(那覇～宮古往復) 日当6,600/宿泊20,800(2泊3日) <2人分>
計				114,800	

3. 除痛率調査費用

項目		件数	単価	支出予定金額	備考
通信費					別途予算有
計				0	

4. 緩和ケアの現状分析費用

項目		件数	単価	支出予定金額	備考
通信費		500	90	45,000	
計				45,000	

5. 本島での緩和ケア研修会企画、実施を調整する

項目	研修場所	回数	単価	支出予定金額	備考
交通費(県内)	琉大病院	1式	24,000	24,000	平成24年度研修会経費参考
講師謝金		1式	116,000	116,000	
ファシリテータ謝金		1式	380,000	380,000	
会場費		2回	45,000	90,000	
郵送代		90	80	7,200	
計				617,200	

6. 緩和ケアフォローアップ研修会及び在宅緩和ケア研修会を実施する

項目		回数	単価	支出予定金額	備考
交通費(県内)		5	2,000	10,000	備考
講師謝金(学外者)		3	30,000	90,000	
会場費	沖縄県医師会(8時間)	1日	15,500	15,500	
計				115,500	

7. 看取りを施設で行うための勉強会の実施:別途助成金あり

8・行政との交流会実施

項目		回	単価	支出予定金額	備考
講師謝金(学外者)	2時間	1	15,000	60,000	2人
交通費(県内)		1	2,000	8,000	4人
会場使用料	沖縄県医師会(2時間)	1	5,000	5,000	
計				73,000	

9. 在宅緩和ケア地域連携事業

①二次医療圏内の在宅療養支援診療所等のリスト及び在宅緩和ケア連携を患者家族に示せるマップのメンテナンス

項目		回	単価	支出予定金額	備考
メンテナンス		1	100,000	100,000	
計				100,000	

②症状緩和を目的とした緩和ケア関連の地域連携クリティカルパスの運用と評価

項目		回	単価	支出予定金額	備考
メンテナンス		1	100,000	100,000	
計				100,000	

2. 那覇市立病院支出予定額(地域拠点病院) 合計 **¥524,225**

3. 本島での緩和ケア研修会企画、実施を調整する

項目	研修場所	人数	単価	支出予定金額	備考
研修会費用	那覇市立病院			409,425	(詳細は【本島での緩和ケア研修会に係る費用】参照)
計				409,425	

2. 患者会への協力

患者会を後援する。または講演会の開催

項目	研修先	回数	単価	支出予定金額	備考
旅費	石垣又は宮古	1	114,800	114,800	航空券30,000(那覇～宮古往復) 日当6,600/宿泊20,800(2泊3日) <2人分>
計				114,800	

3. 沖縄県立中部病院支出予定額(地域拠点病院) 合計 **¥524,225**

3. 本島での緩和ケア研修会企画、実施を調整する

項目	研修場所	人数	単価	支出予定金額	備考
研修会費用	那覇市立病院			409,425	(詳細は【本島での緩和ケア研修会に係る費用】参照)
計				409,425	

2. 患者会への協力

患者会を後援する。または講演会の開催

項目	研修先	回数	単価	支出予定金額	備考
旅費	石垣又は宮古	1	114,800	114,800	航空券30,000(那覇～宮古往復) 日当6,600/宿泊20,800(2泊3日) <2人分>
計				114,800	

4. 北部地区医師会病院支出予定額(支援病院) 合計 **¥409,425**

3. 本島での緩和ケア研修会企画、実施を調整する

項目	研修場所	人数	単価	支出予定金額	備考
研修会費用	北部地区医師会病院			409,425	(詳細は【本島での緩和ケア研修会に係る費用】参照)
計				409,425	

5. 県立宮古病院支出予定額(支援病院) 合計 **¥270,000**

2. 患者会への協力

患者会を後援する。または講演会の開催

項目	研修先	回数	単価	支出予定金額	備考
講師謝金(学外者)	1時間	18	15,000	270,000	宮古又は石垣負担
計				270,000	宮古又は石垣負担(6人分) 1人@30,000の3日間(1日3人の講師で行った場合で算出)

6. 県立八重山病院支出予定額(支援病院) 合計 **¥270,000**

2. 患者会への協力

患者会を後援する。または講演会の開催

項目	研修先	回数	単価	支出予定金額	備考
講師謝金(学外者)	1時間	18	15,000	270,000	宮古又は石垣負担
計				270,000	宮古又は石垣負担(6人分) 1人@30,000の3日間(1日3人の講師で行った場合で算出)

総額 **¥3,241,375**

*日 当・・・1日当たり2,200円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*宿泊料・・・1夜当たり10,400円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*謝金(学外者)・・・1時間 15,000円(国立大学法人琉球大学諸謝金支給基準単価表参考)